

プレミアム電動アシスト自転車用ユニット 『Bosch eBike Systems (ボッシュ・イーバイクシステム)』 2017年に日本市場へ参入 第45回東京モーターショー2017で日本初出展

2017年8月10日
EB-2017-01
Bosch eBike Systems

- ▶ プレミアムセグメントの電動アシスト自転車として、シティサイクルに新たな選択肢の提案
- ▶ 電動アシスト自転車ユニットの最新シリーズ「Active Line Plus」を搭載した人気輸入自転車ブランドを展開予定
- ▶ 高い機能性と優れたデザインを両立した包括的なシステム

東京—グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーであるボッシュは、2017年より日本の電動自転車用アシストユニット市場に参入します。日本では電動アシスト自転車用ユニットシリーズの中から、日常利用を目的とした最新シリーズとなる「Active Line Plus」を搭載した人気輸入自転車ブランドを展開予定です。ヨーロッパでは既に約70もの人気自転車ブランドに『Bosch eBike Systems』が搭載されており、現在ではアメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドとマーケットを拡大しており、アジアパシフィック市場へのさらなる拡大のため、日本市場に参入します。また、2017年10月に開催する第45回東京モーターショーにて、『Bosch eBike Systems』を搭載した自転車を日本国内で初めて出展します。



シティサイクルにプレミアム電動アシスト自転車という新たな選択肢

日本の電動自転車市場は近年で拡大しており、特に2011年の東日本大震災の際には交通網のマヒの影響などにより、電動自転車は移動手段の1つとして改めてその有用性が認識されました。震災後の2011年から2016年まで、電動自転車の販売台数は年平均約25%増加しており、今後も更なる拡大が期待されます。

『Bosch eBike Systems』は、楽しくアクティブに自転車を利用する層をターゲットにプレミアムセグメント向け電動アシスト自転車用ユニットのグローバルマーケットリーダーとして日本での市場を開拓してまいります。2017年10月以降、日本でのサービスパートナー Intertec Inc. と共に、今後『Bosch eBike Systems』を搭載した電動アシスト自転車を販売する店舗に、コールセンター、ワランティ対応、スペアパーツの供給および技術サポートなどの販売サポートを提供します。

Active Line Plus とは

2017年より日本に市場参入する『Bosch eBike Systems』の最新シリーズ「Active Line Plus」は、Drive Unit(モーター)、PowerPack 300(バッテリー)、Intuvia(ディスプレイ)、Charger(チャージャー)がセットになった電動アシスト自転車用システムです。この最新システムにより静かでスムーズなアシストが実現され快適な乗り心地を提供します。

Drive Unit(モーター):

ユーザーが快適に自転車に乗れるよう、Drive Unitは3軸センサーにより1秒間に1,000個もの動きを測定し、最適なスピード、及び電動アシストを実現します。美しいデザインにもこだわっており、国際的なプロダクトデザイン賞のレッド・ドット・デザイン賞を2017年に受賞しました。

PowerPack 300(バッテリー):

バッテリーは、容量300Wh、また軽量化と長寿命化を実現しました。また、人間工学に基づいたデザインのため、充電時に簡単に取り外しができます。このバッテリーは、自転車の中心部に設置することを想定しており、自転車のバランスを崩すことなく快適に運転可能です。

Intuvia(ディスプレイ):

Intuvia(イントゥーヴィア)には、スピード・距離・乗っている時間・距離残数が表示されます。ディスプレイは明るい環境下でもハッキリと見ることができ、常にユーザーに最適なギアでの走行を知らせてくれます。また、操作用のリモコンをハンドルに搭載させることができるため、運転しながら簡単かつ安全にディスプレイに表示させる情報を操作することが可能です。また、リモコンでは、Drive Unitに搭載された5つの運転モードに切り替えることもできます。

Charger(チャージャー):

チャージャーは軽量(約800g)、丈夫、かつ充電速度が速く約2.5時間で充電が完了します。



Bosch eBike Systemsとは

『Bosch eBike Systems』は2009年に立ち上がり、以来2012年からは“電動自転車”ユニットサプライヤーとしてヨーロッパではマーケットリーダーに成長しました。既に70以上もの有名ヨーロッパブランドがボッシュ製品により作られています。高性能のDrive Unitから、高品質なバッテリー、更にサイクルコンピューターまで製品のラインアップとしてご用意しております。これら電動アシスト自転車ユニットに備わっているコンポーネント一つは、全てお互いに調和するようこだわり抜いて製造されています。

ボッシュ・グループとして培ってきた電動モーター、センサーテクノロジー、ディスプレイ、リチウム電池のノウハウを全て活用し、コーポレートスローガンである“*Invented for life*”を第一とし、ebikeを利用する全ての人に「楽しさ」を提供することを掲げています。

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2016年の従業員数は約39万人(2016年12月31日現在)、2016年の売上高は731億ユーロを計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの4事業セクター体制で運営しています。ボッシュはIoTテクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドマニュファクチャリングに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたソリューションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「*Invented for life*」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 440 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 120 の拠点で約 5 万 9,000 人の従業員が研究開発に携わっています。

ボッシュの起源は、1886年にロバート・ボッシュ(1861~1942年)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の92%は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っており、残りの株式は創業者であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)